

「災害時における相互支援に関する協定」に基づく訓練の実施について

1 「災害時における相互支援に関する協定」について

(1) 協定の概要

- | | |
|--------|---|
| ○ 協定主体 | 県及び幼稚園連合会、保育連盟連合会及び認定こども園協会
(以下、「3団体」という。) |
| ○ 支援内容 | 可能な範囲での職員の派遣、こどもの受入、物資の提供 |
| ○ 事務手続 | 県及び3団体事務局の関与 |
| ○ 費用負担 | 無償 |
| ○ 平常時 | 連絡体制の確立及び訓練の実施 |

(2) 締結に至る経緯

①平成 29 年 2 月 14 日（第 12 回子ども・子育て支援会議）

- ・ 保育所等の防災対応について意見交換を行った際、会長より、相互応援の仕組みづくりについて言及があり、関係 3 団体との協議を開始。

②平成 29 年 9 月 8 日

- ・ 協定締結

2 訓練の概要

(1) 実施日時

令和元年 10 月 28 日（月） 午前 10 時～12 時

※今年度の試みとして、緊張感を高める観点から、事前には 10/28(月)～11/1(金)のうち、いずれか 1 日で実施することだけを伝え、具体的な日程は当日朝に連絡して実施した。

(2) 災害の想定

10 月 27 日（訓練前日）に、宮崎市直下型（最大震度 6 強）の地震が発生

(3) 支援の想定

宮崎市内にある 3 つの被災園に対し、県北、県西、県南地区にある 9 園が支援することを想定

(4) 訓練の方法

県及び 3 団体事務局を介して、F A X（一部、電話確認）により、被災園と支援園における相互支援のマッチングを実施

3 訓練参加者の感想アンケート(調査結果)

(1) 回答者情報

15者(内訳は、事務局3団体 被災園3園、支援可能園9園)

(2) アンケート結果

①参加してみたの感想

→ 14者(15者中)が、「今回の訓練に参加して良かった」と回答

(主なコメント:参加して良かった理由など)

- ・支援要請、支援の方法など実際の流れが把握できた。
- ・災害時の心構えができた。
- ・どのような支援ができるのかを知ることができた。
- ・いざというときのための訓練や心構えが重要と考えているので、継続した訓練が必要である。

②実施時期や時間

→ ほとんどの参加者が、「実施時期や時間は適当だった」と回答

※1園から、「1号認定の子どもが退園する15時頃が良い」との意見

③今年度からの試みとして、事前に具体的日程を決めなかったことへの意見

→ ほとんどの参加者が、「緊張感が高まるなど良い試みだった」と回答

※2園から、「予定が立てにくいので事前に具体的日程を決めてほしい」との意見。また、1園から「代理者で対応して良ければ、どちらでも良い」との意見。

④来年度以降の訓練内容

→ 全ての参加者が、「今回と同じような電話及びFAXによる伝達訓練を、対象地域や対象園を変えて実施した方が良い」と回答

⑤その他、意見や感想

- ・具体的な災害内容を設定した上で、(その災害規模等に対応した)支援要請が発されれば、より緊張感が出る訓練となるのではないか。
- ・より多くの園に内容理解等してもらうために、支援側だけでも、参加する園を増やしても良いのではないか。
- ・最初から決めた支援内容を伝達するのではなく、自園の支援物資等を確認する意味でも、実際に支援できる物資等を伝達する訓練方法が良いのではないか。
- ・このような訓練で、園、事務局、県が連絡を取り合うという仕組みが定着するだけでも実際の災害時に活かされると思う。